



ひとびとに国境をひらく道

A Passage Across Borders



国境を越えて繋がる交流と繁栄の回廊をめざして
Building Regional Corridors of Communication and Prosperity



はじめに

古来、道は、シルクロードがそうであったように、文明を伝え、文化を育み、交易を通して人々を繋げてきた。近年、国境を越えた市場の広域化や国際分業の進展に伴い、クロスボーダー交通、すなわち国境を越えた人と物の移動が増加している。この国境を越えた動きを支える基盤として、クロスボーダー交通インフラの重要性・必要性が高まりつつある。

クロスボーダー交通インフラは、域内の国々との自由な貿易や投資促進だけでなく、経済発展の恩恵の及びにくい国境貧困地域の開発にも資するものであり、国際機関も積極的に関与してきている。一方で、クロスボーダー交通インフラ整備は、域内格差の拡大等、負の効果をもたらす可能性もあることや、ソフトインフラである制度基盤が十分に整備されておらず、道路や港湾といった物的施設が十分に活用されないなど、取り組むべき課題も多く残されている。

このような流れの中で、JICAはクロスボーダー交通インフラへの支援を進めるべく、平成17年から18年まで、「クロスボーダー交通インフラ対応可能性研究」を実施し、全世界を対象にリージョナリゼーションの進展とクロスボーダー交通の整備効果について検討を行った。この結果を受けてフェーズ2として研究を開始し、近年、クロスボーダー交通インフラ整備が急速に進みつつあるメコン地域に焦点をあて、クロスボーダー交通の現状や課題についてさらに分析を進めるとともに、JICAの今後の協力の可能性について検討を行った。この冊子は、その結果をまとめたものである。

Greater Mekong Subregion (GMS)

大メコン地域、Greater Mekong Subregion (GMS) と呼ばれるこの地域は、中国大陸を発しインドシナ半島を南下するメコン河流域に位置する地域であり、具体的には、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナムの5カ国と、中国南部の雲南省と広西チワン族自治区の2省を含む地域を指す。



メコン地域の位置

